

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・天候不順の週末が続き、観光地としては悪条件の連続にもかかわらず、旅行客数は増加している。客の表情も明るく、購買力も上昇している。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・大型液晶テレビとプラズマテレビは、在庫があればすぐに売れる状態である。洗濯機もドラム型を中心によく売れる。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・ゴールデンウィーク期間中の販売量は良くなっているが、月の中盤から後半にかけては天候不順により売上はあまり伸びていない。しかし、全体としてみれば良好である。
		一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・今年の中元商戦は、百貨店では強気の需要予想をしているが、当社も客単価200円増を見込み、現在強気の生産体制を敷いている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が約8%増えている。
		スーパー（営業担当）	販売量の動き	・既存店ベースの販売点数は前年比104%、買上点数も同103%と、直近では最も良い数値となっている。売上、来客数も同102%と好調な伸びを示して、良好に推移している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・ファーストフード部門など前年同期の売上を上回る分野が多く、売上全体でも前年をクリアしている。
		衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・販売量が増加し、売上も伸びている。
		衣料品専門店（企画担当）	単価の動き	・衣料品の単価上昇が得意先の各店でもみられる。特にミセス向け良品に動きが出てきている。
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク前後のメンテナンス、洗車用品の売上が貢献し、売上は良くなっている。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・住宅ではマンション、賃貸、分譲ともに好調である。民間企業関係の工場、オフィスも順調である。ただし、公共工事は減少している。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・新年度ということもあるが、久しぶりに顔を出してくれる客が増えている。少しずつ良くなってきている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・スタッフを増員したため、新しい客が増えている。連休明けから客の出足は好調である。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・今年のゴールデンウィークは大型連休ということもあり、連休明けの人通りの減少を懸念していたが、思いのほか人通りの減少は少なく、売上も前年と比べて1割程度増加している。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数の増加のみならず、単価も下げ止まってきている。価格設定がそのまま通ようになってきている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・店頭で夏の旅行商品のパンフレットが並び始めたが、例年に比べて申込の出足は早い。家計にも余裕が出てきて、バブル期の売行きを想起させるほどである。
		タクシー運転手	単価の動き	・中距離で利用する客が増えている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新築案件は少ないが、リフォーム案件が増えてきている。
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・賃貸マンションの高級志向と不動産の証券化の普及が要因となり、都市部の土地所有者は賃貸マンションの建設に意欲がある。		
変わらない		商店街（代表者）	販売量の動き	・今月に入って天候不順のせいもあり、来客数はあまり伸びていない。そのため販売量は3か月前と同程度に戻っている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・母の日の販売量は増えているものの、単価は少し低下している。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・この3～4か月は売上が下げ止まり、少し上向きに転じていたが、5月は横ばいとなっている。ガソリンなどの値上げにより、客は自衛策として少し様子をみている。上向き傾向ではあるが、ペースは少しゆっくりした状態になっている。

一般小売店 〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィーク後は雨の日が急に多くなり、特に週末がひどく、人出は目立って減少している。当然売上も落ち込み、自動販売機では連休中と比べて40%以上も減少している。また、客は連休中の出費分を抑えようとしているところもある。当店の売上は前月に比べて6%ほどの減少になる。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・ダイレクトメールを出したり電話などで勧誘すると、来客数が増え、まとまった買物をしてくれる。客は多少は余力が出てきている。
一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・連休や天候不順が原因で、人出に影響が出ている。
百貨店（売場主任）	来客数の動き	・梅雨に入ったかと思うような雨の日が続き、クリアランス前の6月期と同じくらい買物客は少ない。
百貨店（企画担当）	販売量の動き	・雨や低温などの天候不順により、紳士服、婦人服、子供服ともあまり動いていない。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・婦人用品の動きが軟調で、来客数も天候不順が影響して少なめである。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は前年比2～3%減の状況が続いており、依然として回復の兆しがみられない。
スーパー（店長）	単価の動き	・原油価格の高騰などの不安要素があり、消費者はそちらに意識が向いている。
スーパー（店員）	来客数の動き	・特売のチラシを入れた日には客はそこそこ来てくれるが、特売日以外はその反動か、来客数が非常に少ない。近隣の競合店でも、特売日は駐車場が埋まっているが、それ以外はがらがらの状態である。
スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・折り込みチラシを見て車で買い回る客が増えており、各スーパーでは特売日に応じて強い曜日、弱い曜日が明確化している。5月前半は雨の日が多かったが、当店の特売日に雨が降ると翌日は他のスーパーに客が流れ、売上に大きく影響が出ている。また天候不順で野菜相場は高めに推移しており、主力商品の価格設定も高めにせざるをえず、チラシ商品のみが動いて定番の動きが悪い。
コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上の前年割れは継続している。余分な物を購入しない傾向も継続している。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・今年は長いゴールデンウィークだった影響で、ゴールデンウィーク以降から25日過ぎまでの売上は非常に悪くなっている。
コンビニ（売場担当）	単価の動き	・単価、販売量とも、前年に比べてほとんど変動がない。トータルの売上も前年比100%前後で推移している。
衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・衣料品の販売量が減少していることに加え、それに伴って、糸、繊維資材の販売も減っている。
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・割安感のある商品は売れているが、値段が少々高いとあまり売れない。
家電量販店（店員）	単価の動き	・販売量はそれほど伸びていないが、単価は上昇傾向にある。仕入価格の上昇を、さらに売価に転嫁できるかどうかの瀬戸際にある。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・来客数は増えていないが、成約率は上昇している。原油価格の高騰の影響で、当社の主力車種の軽自動車が目立っていることもその要因の一つである。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・毎年連休明けから客の動きは活発になるが、今年はかなり鈍化している。新車の発表もないため、来店する要素が無いのもその背景にある。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・3か月前の悪い状況からあまり変わっていない。会社関係の客の中には良いところもあるが、個人消費はまだ冷え込んでいる。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月の販売台数も何とか前年実績を上回ることができたが、低燃費小型車の構成比率が大きな比率を占めており、販売単価の低下を招いて目標収益を大きく下回っている。やはり、原油価格の高騰が客の車選別に大きな影響を与えている。
その他小売〔水産物卸売〕（経理担当）	お客様の様子	・依然として、様子見の状態が続いている。

	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中は海外旅行などのレジャーに客をとられ、その後は天候不順などが響き、来客数は伸び悩んでいる。ただし、高価値メニューが好評で、客単価の上昇で売上をカバーしている。
	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・今月は雨が多く、来客数は少ない。
	その他飲食[仕出し] (経営者)	販売量の動き	・原油価格の高騰の影響で温室物や輸入物の食材価格が上昇しているため、利益は減少傾向である。
	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・宿泊稼働率は、愛知万博前の年と比べると上昇している。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・前年に比べて来客数は少ない。
	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・5月中旬の天候不順が、客の消費心理に影響を与えている。
	旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・5月は雨の日が多く、思ったほど来客数は伸びていない。来客数、売上とも前年比で減少している。
	タクシー運転手	来客数の動き	・昨年12月や今年の3月には、少しは景気が良くなってきたと感じていたが、また悪い時と同じような状況に戻ってきている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・今月前半はゴールデンウィークがあり、昼間の客は増えたが夜間は暇であった。連休明け1週間ほどは客数は少なかったが、後半はやや戻っている。
	通信会社(開発担当)	販売量の動き	・光通信サービスの申込は順調に伸びてきているが、開通工事処理能力の限界に近づいている。
	通信会社(サービス担当)	お客様の様子	・客は費用や月間使用料に神経質な反応をする。また、注文件数が増えていることもない。
	観光名所(案内係)	お客様の様子	・常連の客がどんどん減少している。
	ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・今月は目標以上の入場者数を見込んでいたが、天候に恵まれず目標前後で止まっている。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。近辺に安い店が多くできたため、そちらに客が取られている。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・以前はカットで月に1回、シャンプーとブローで週1回来ていた客の来店周期が、それぞれ2か月に1回、月1回に変わっている。ただし、現在はその頻度で落ち着いている。
	住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・売れる地域と売れない地域の格差がかなり出ている。
	住宅販売会社(従業員)	来客数の動き	・ゴールデンウィークで来場者数は多いが、金利上昇を気にしている客も多い。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・毎週末が雨天だったため、来客数は減少し販売量も落ちている。
	一般小売店[書店](経営者)	販売量の動き	・競合店との競争がだんだん激しくなっている。今月は特に高額商品が売れない。
	百貨店(売場主任)	来客数の動き	・今年のゴールデンウィークは天気が良かったせいか、旅行に出掛ける人が多く、百貨店の来客数は少ない。来店時間帯にも波があり、非常に忙しい時もあれば暇な時もあり、拍子抜けした感じである。
	百貨店(企画担当)	販売量の動き	・気温が例年より低めに推移し、雨天が続いていることもあって、Tシャツ、サンダルなどの盛夏商材の動きが鈍い。特に紳士服の不振が目立っている。ファッション商材全体が好調であった数か月前とは明らかに傾向が変わってきている。
	百貨店(外商担当)	来客数の動き	・悪天候が続いているせいか、婦人衣料品を中心として全体的に売上は低迷している。特に店まで足を運んでくれる客が極端に少なくなっているので、売上はかなり苦戦している。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・小売店では全体的に売上が伸びていない。天候不順の影響もあるが、やや悪い。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・ゴールデンウィークを過ぎてからぐずついた天気が続き、清涼飲料水、缶ビールの6缶パック、飲食店向けの生ビールなどの水物の動きが例年に比べて非常に悪い。
	コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・天候不順の影響も出ているが、天気の良かったゴールデンウィーク期間中でも、前年に比べて来客数は少なく、売上も前年比95%である。

	乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売量の動きは、若干減少傾向である。
	乗用車販売店 (従業員)	来客数の動き	・前月までの予想では良くなるかと思われたが、ガソリン価格の高騰の影響で燃費の良い車や軽自動車に人気が集まりつつあり、来客数も減ってきている。それほど利益が見込めないため、しばらくは苦しい。
	その他専門店 [貴金属](店長)	お客様の様子	・客は品物選びに慎重で、客単価も上昇していない。
	その他専門店 [雑貨](店員)	お客様の様子	・来客数の割には、購買客数が今一つである。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・来客数は前月よりも10~13%減少している。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中は昨年と比べてやや売上が伸びたが、それ以降の落ち込みが例年に比べて激しい。
	都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク中も含めて、レストランの来客数が昨年、一昨年と比べて非常に悪い。
	通信会社(企画担当)	販売量の動き	・新規契約数は頭打ちで、解約者も目立つようになってきている。大手との競争の影響もある。
	テーマパーク (職員)	来客数の動き	・当園への入場者数は、減少傾向である。
	パチンコ店(店長)	来客数の動き	・スロットマシンを利用する客が減少している。
	理美容室(経営者)	来客数の動き	・暖かくなり忙しいはずなのに、来客数は少ない。
	美容室(経営者)	来客数の動き	・最近の客の動きとして、イベントなどに出掛けるため美容室に行くといった客は少なく、逆にできる限り美容室に行く間隔を延ばそうとする客が多い。
	住宅販売会社 (企画担当)	お客様の様子	・ここ1、2か月間、客に見積を提出することもあるが、価格交渉などでなかなか結論が出ず、成約は厳しくなっている。
	悪くなっている	美容室(経営者)	それ以外 ・雨の日はパーマのかかりが悪かったり、ちりちりになってしまうため、客は雨の日に美容院へ行くことを敬遠する。5月は雨の日が多かったせいで、来客数があまり良くない。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	紙加工品[段ボール]製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き ・受注量や販売量は引き続き伸びている。ただし、仕入先から値上げの要請がかなり厳しくなっている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き ・受注量、販売量ともに3~5%増加している。ただし、原材料、原油価格の値上げがあり、採算は取れていない。
		出版・印刷・同関連産業(経営者)	それ以外 ・求人広告の出稿量が急増している。
		輸送用機械器具製造業(統括)	受注量や販売量の動き ・主力取引先からの受注状況は徐々に改善しつつある。
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き ・中部地区の貨物は、大手の製造業やIT関連企業を中心に、引き続き堅調に動いている。
		輸送業(エリア担当)	取引先の様子 ・新規客から運賃の見積依頼や商談の引き合いが出てきている。
		金融業(企画担当)	取引先の様子 ・不動産関連では、事業全体が比較的好調である。そのため、過去の負の遺産を清算できるだけの体力がついてきている。
		金融業(決算予算担当)	取引先の様子 ・個人客のカード利用件数、利用金額、年率とも、ショッピングを中心に増加している。
		行政書士	受注量や販売量 ・顧問先企業の出荷量は少しずつ上昇している。
		会計事務所(社会保険労務士)	取引先の様子 ・黒字決算の会社が増えている。また、設備投資や新しい分野への進出を考える会社も出てきている。社員の昇給も昨年に比べて増額されているところが多い。
		その他サービス業[ソフト開発](社員)	受注量や販売量の動き ・受注や引き合い件数は引き続き順調である。

変わらない	一般機械器具製造業（販売担当）	受注量や販売量の動き	・日系を除き米国の自動車産業は景気が悪く、ここ3か月間はまともな引き合いがない状態が続いている。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	取引先の様子	・見積は出しているが、なかなか契約にはつながっていない。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・以前に比べて価格交渉はスムーズに運んでいるが、販売量には変化がない。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・依然として激しい競争にさらされており、受注価格も厳しい。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・最終的に契約につながるかどうかは分からないが、法人、個人とも引き合いは引き続き多い。	
	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・天候不順の影響で、例年に比べて夏物の荷動きが良くない。	
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・客の投資意欲は上がっておらず、日々の会話の中でも景気のいい話は出てこない。	
	金融業（従業員）	取引先の様子	・取引先の様子では最近二極化が進み、もうかっている企業はどんどん成長し、平凡にやってきた企業では売上は減少し、取引もうまくいっていない。	
	広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注価格は、依然として前年を割り込んでいる。	
	公認会計士	それ以外	・顧客先企業の業績は大きく変化していない。ただし、一時期業績が回復しつつあった中小企業で、人件費の上昇や採用難、燃料費の高騰等が収益を圧迫している。	
やや悪くなっている	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・経営者は少し慎重になってきている。新規の契約はやや鈍い状態が続いている。単価もやや鈍化している。	
	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・製品改良による品質向上のため、製品の耐用年数が延び、受注量は減っている。価格はほとんど変わらないため、売上は減少している。	
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大手企業同士の取引が増えており、中小零細企業では少ない仕事の中で単価のたたき合いをしている。	
	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・原材料価格の高騰などにより、費用は増加しているにもかかわらず、販売単価に転嫁できないと嘆く同業者が多い。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・トラック輸送の貨物量は減ってきている。	
悪くなっている	会計事務所（職員）	取引先の様子	・天候不順により、屋外作業が中心の建設関係は打撃を受けている。	
	窯業・土石製品製造業（経営者）	それ以外	・売上は前年同期比で大幅増収となったものの、新規設備への投資に伴う減価償却費がかさみ、結果的に増収減益となっている。	
金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量が減少し、相変わらず供給過剰状態である。業者間の価格競争も厳しさを増している。		
雇用関連	良く なっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・依然として求人数は多く、特に金融機関では切迫しており、即戦力が求められている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・今まで様子見していた企業が社員採用を復活させ、見込みどおりの求人案件が出てきている。好調な企業だけでなく、好調でない企業からもある程度の求人がある。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・人材派遣、人材紹介とも求人案件は急増しており、紹介するスタッフが不足している。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・障害者の就職件数が増加している。それに応じて障害者の新規求職者数も増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・ここ数年採用を控えていた企業が、久しぶりに求人を出すようになってきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数は増加傾向にある。またパートの賃金が増加してきている。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は、なだらかではあるが増加している。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・金融機関からの求人が、異常なほど増加している。

変わらない	人材派遣業（経営企画）	周辺企業の様子	・引き続き、技術者へのニーズはおう盛である。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣求人数の伸びは横ばいになってきている。しかし人材不足は深刻であり、料金の値上げ交渉を進めている。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・製造業が多い地域の求人は相変わらず高水準で推移しているが、その他地域では頭打ちとなっており求人広告も前年をやや下回っている。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・求人数は依然として高水準にあるものの、高止まりである。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・有効求人数は減少傾向で推移しているものの、有効求職者の数も45か月連続で前年同月を下回っている。
やや悪くなっている 悪くなっている	職業安定所（管理部門担当）	求人数の動き	・依然として求人倍率は高水準で推移し、人手不足の状況にある。ただし、雇用形態は派遣や請負が多く、高齢求職者にとって厳しい状況は以前と変わっていない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・一般求人の中で、特に派遣、警備、ドライバー関係の求人広告数の落ち込みが大きい。
	-	-	-